≪稲　作≫

▼早生稲▲

○穂いもちの防除、上旬にカスミン、ヒノザン、キタジンPなどを撒布します。

○落水、早すぎると稔実不良の原因となり、立毛中の胴割れも多くなるので乾田ではできるだけ落水をおそくしてください。

○ヒエ抜き、抜取ったヒエは畦畔や川に捨てないで、一定の場所に集めて焼却しましょう。

▼中生稲▲

○中干し、亀裂の入る程度に中干しをし、根の健全化をはかることが、湿田では特に必要です。

○24―Dの撒布、中干しの時期前に撒布すると、殺草と稲の倒伏を防ぎます。

○ニカメイチュウ、ツマグロヨコバイの防除、中旬にバダンバール、スミバール、ツマスミ粉剤などでメイチュウのふ化を初期に同時防除し、ニカメイチュウを対象とする場合は、バダン、バイジット粉剤などで防除します。喰入虫の多い場合はデイプテレックス粉剤を使用してください。

○もんがれ病の防除、ネオアソジン、モンゼット粉剤を株元に強く撒布し、葉イモチを同時に防除する場合はカスモン、タクジンP、ヒノジット粉剤を使用します。

≪野　菜≫

▼ハウス野菜▲

○病害虫の高温処理

夏期ビニールハウスを密閉すると、ハウスの中の気温は六十～七十度となり、このため地温も上昇し上層は病害虫の死滅温度に到達することが明らかになりました。土壌を数回反転して処理を行なえば、病害虫の密度を相当下げることができます。

収穫のあと必ず実行してください。

○播種、育苗床の準備

「苗半作」

「七分作」とか言われております。良い苗はよい床土から生まれます。作業に追われて促成の床土を作ることのないよう今から堆積しておき、完全な消毒を行って後育苗するよう心がけてください。

○連作障害

連作障害（イヤ地）は、土壌病害虫、土壌中の微量要素、作物が出す毒素などが考えられますが、このうち圃場に累積される毒素は、作物の葉に一番多く含まれていますので、作物を収穫した後は作物の葉を圃場に残さないように、根や茎と共に焼却して連作障害をすくなくするようにつとめてください。

7月の主な農作業と生活です。

参考にしてください。

（南国農業改良普及所
市営農改善会）

≪果　実≫

▼柑きつ▲

○摘果　中旬から八月上旬にかけて十分に摘果します。摘果剤を使った園でも手直し摘果は必要です。

○夏草の処理　梅雨が明けると刈取るか、除草剤で処理します。除草剤はハイバー×か、ワイダック乳剤を撒布してください。

○サビダニの防除　中下旬にアカール乳剤を撒布し、アカダニの防除をかねる場合はケルセン乳剤を使います。

○天牛の防除、戌虫の捕殺、産卵防止剤を撒布してください。

▼落葉果樹▲

○梅雨後の土壌管理、今月後半から高温乾燥が続くから草を刈取り敷草（敷ワラ）を行なう。

○追肥、果実の肥大を良くし翌年の結果にも好影響を及ぼします。種類や樹令、立地条件によって適量をおそすぎないように施してください。

○柿の摘果

生理落果が終り次第、十分な摘果が必要です。

○シンクイムシ類の防除

多発の時期であるのでバイジット、スミチオン乳剤などで防除するとよい。

○柿のヘタムシの防除、下旬にバダン、スミチオンなどで防除することです。

≪制度資金≫

▼農業改良資金▲

農業者が農業経営の改良や、生活の改善を行う場合、農業後継者が新しい農業部門を始める場合に無利子で資金を貸ることができます。

償還期間は種類により三年から五年となっています。

㈠ 技術導入資金

大型のビニールハウス、灌水設備、田植機、刈取機などを導入する場合、事業費の七割まで貸ることができます。

㈡ 農家生活改善資金

居間や、台所の改善、共同炊事場やちり焼場など、生活の合理化のために設置をする場合、その資金を貸ることができます。

㈢ 農業後継者育成資金

農業後継者が一つの区分された農業部門の経営を自から行なう場合の資金として七十五万円貸りられます。

▼総合施設資金▲

自立経営を目ざし規模の拡大や資本装備の高度化など、農業経営を一体として総合的、計画的に経営の改善を行なおうとする農業者に必要な資金で、貸し付け金額は個人で八百万円、法人の場合は一千万円です。償還期間は二十五年で、据置期間は十年、利子は五分です。

≪生　活≫

▼夏のおべんとう▲

食中毒の多い季節、お弁当のおかずは特に注意して、朝必ず火を通す、味つけは濃いめに、汁けを少なく、あたたかいものと、冷たいものをいっしょにつめない。さましてからふたをするなどの心づかいが大切です。

〃こんなおかずはいかがですか〃

○＜揚魚の甘酢煮＞

魚はそぎ切りにして、醤油と生姜汁で下味をつけ、片栗粉をまぶして、から揚げにする。翌朝、玉葱、人参、莢豆をいため、揚魚を加え、かための甘酢あんをからませる。

みかんとキャベツのサラダを添える。

○＜豚肉の炒め焼＞

豚肉の薄切、人参の短冊切、玉葱のせん切を酒、醤油、生姜汁につけておく。翌朝、まず肉を炒め焼き、その後で野菜を炒め、つけ汁も入れて味をからめる。

じゃが芋の白煮を添える。

ことしも水のシーズンがやってきました。海や川で水にたわむれることもたちの姿は、まことにほほえましいもので、夏はこどもたちにとっていちばん楽しい季節です。

しかし、毎年この時期には多くの幼い人命が水にのまれており、それだけに夏は、こどもたちにとって、いちばん危険な季節であるともいえます。

昨年、県下で水の事故でなくなった人は、六十人もありました。

そしてこの中には、十五才以下のこどもが十四人も含まれています。（注、昨年交通事故でなくなった十五歳以下のこどもは十三人でありました。）こうしたこどもたちの事故の原因を調べてみますと、そのほとんどが、こどもたち自身の過失というよりも、周囲のおとなたちの不注意や無関心さにあるといえるようです。

水のシーズンを迎えて、警察は水の事故からこどもたちを守るためにいろいろ気を配っています。しかし、何といいましても、家庭における みなさんがたの指導なり、注意が最も効果のある方法といえましょう。

かわいいお子さんがたを水の事故から守るために、ぜひ、つぎの点に気をつけてください。

こどもを水の事故から守ろう

△ひとりで遊びに行かせない

幼いお子さんがたを一人では水遊びや魚とりに行かせないことです。

△泳ぎと健康

遊びざかりのこどもたちは、少しぐらい体のぐあいが悪くても、そんなことにはおかまいなしに泳ぎに行こうとします。こうしたときに思わぬ事故が起こるものです。病気あがりであるとか、特に疲れているときには泳ぎに行かせないよう、家族みんなで気をつけあうようにしてください。

△危険な場所での注意

この年ごろのこどもたちは、冒険心が盛ですから、好んで危険にいどもうとします。たとえば、水泳禁止区域で泳いだり、雨あがりで水の出ているときや海の荒れているときなど、友だちと競いあって泳ぎたいものです。

毎年、こうした無謀な水遊びによる事故があとをたちません。危険な場所での水泳は絶対に慎しむよう、ふだんから十分いい聞かせておいてください。

△幼児の転落事故を防ぐために

記憶されておられる方もあろうかと思いますが、昨年の夏、仲良しの三人の幼児が、家の近くの防火用水池につぎつぎに転落し、死亡するという、いたましい事故がありました。

われわれおとなからみれば、全く危険を感じない小さい池とか、水そうなども、よちよち歩きの幼児たちにとっては、危険このうえもない「魔の淵」といえます。

こうした危険な池や、水そう、野つぼなどはないか、もう一度、よく周囲を点検し、近所の方たちとも話しあって、危険な場所には金網を張るとか、あるいは「サク」や「フタ」を設けるなど、何らかの防止対策を講じていただきたいものです。

こどもたちにとっていちばん楽しく、また危険でもあるシーズンを迎えました。いたましい水の犠牲者をひとりでもなくするため、みんなで協力してこどもたちに水泳に適した場所を定め、その安全を見守ってやろうではありませんか。

（南国警察署）

＊　＊　＊